

広報

せいざんかい

2016

第33号

発行
平成28年4月20日



みんなで仲良く、春らしい笑顔がまぶしい1枚(柏柳の里)

社会福祉法人 ^{せいざんかい} 泚山会

いこいの里

- 特別養護老人ホーム(長期)
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

〒945-1115 柏崎市大字佐水3140
TEL 0257-29-3800 FAX 0257-29-3350
E-mail ikoi@theia.ocn.ne.jp

柏崎市南地域包括支援センター
TEL 0257-31-4515 FAX 0257-31-4525
E-mail minamihoukatsu@cosmos.ocn.ne.jp

柏柳の里

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)
- デイサービスセンター

〒945-1502 柏崎市高柳町岡野町2254番地1
TEL 0257-41-2202 FAX 0257-41-2203
E-mail hakuryu@almond.ocn.ne.jp

くじらなみ

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)

〒945-0855 柏崎市鯨波2丁目4番3号
TEL 0257-32-1120 FAX 0257-32-1121
E-mail kujiranami@trad.ocn.ne.jp

たんねの里

- 特別養護老人ホーム(長期)

〒945-0857 柏崎市大字谷根3190番地 1
TEL 0257-26-2055 FAX 0257-26-2033
E-mail tanne@clear.ocn.ne.jp

ペペ・メメール

- 特別養護老人ホーム(長期)

〒945-0053 柏崎市鏡町2番14号
TEL 0257-41-6601 FAX 0257-41-6602
E-mail pepe-memere@grace.ocn.ne.jp

新年度を迎えて

平成二十七年年度の介護報酬改定、継続課題となつている人材確保、安定的な利用の確保等々、これまで諸課題に対応すべく法人あげて取り組んできました。しかしながら、福祉・介護事業を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続き、当法人としても大きな決断を行うこととなり、平成二十八年度から、**いこいの里ショートステイ事業(定員二十名)**を廃止することを決定しました。これに伴い、現利用者のサービス移行について、市内関係事業所からご協力いただくとともに、法人内施設での受け入れ体制を整え対応してまいります。

今後、いこいの里はもろろんのこと、他施設の各事業の安定稼働の確保に向けて、与えられた条件の中で創意工夫と努力を行うとともに、業務内容の見直しを行つていく必要があります。これに併せて、平成二十七年年度に達成できなかった特養ペペ・メモールの満床に向け体制を整え、順次受入れに取り組んでまいります。

その他、社会福祉法人制度改革への対応、安定経営のための課題分析等を昨年度に引き続き行つてまいります。

社会福祉法人 泚山会 運営方針

【経営理念】

- ①私たちは、地域福祉の充実発展に衆知を集め、地域に開かれ、愛される法人を目指します。
- ②私たちは、地域・利用者との信頼の輪を広げます。
- ③私たちは、利用者の尊厳の保持、サービスの質の向上と顧客満足を追求します。
- ④私たちは、職員の資質の向上と働きがいのある職場づくりを目指します。

○人材の確保・育成

課題である人材確保において施設のPR活動や定期的な職場説明会を開催、育成面においては現場ニーズに応じた研修を計画的に進めるとともに新人指導においては、指導担当者による日常業務に加え、外部育成プログラムを活用し、確実な定着を図ります。

○業務改善及び職種間連携の強化

介護人材の確保が厳しい環境の中、少しでも職場環境を改善するため、個々が創意工夫を行い、意識改革を進めます。この取り組みと併せ他職種とのコミュニケーションを図り、柔軟な相互サポート体制の構築に努めます。

○社会福祉法人制度改革への適切な対応

社会福祉法の一部改正において、社会福祉法人の在り方について公益財団法人と同等の公益性を担保できる組織へと改革が求められています。これを機に改めて当法人の現状を確認し、制度改革に適切に対応してまいります。

○障がい者雇用

平成28年度も引き続き、就労支援事業所、ジョブコーチその他の関係機関と連携し、雇用促進に向けて取り組みます。

ボランティア募集中

・各種教室(手芸・習字等)
 ・お話し相手、外出行事のお手伝い
 ・縫い物、ミシンかけ、草取り等
 ボランティアをして下さる方を各施設募集しております。
 お気軽に各施設へご連絡下さい。
 お待ちしております。

体験型職場見学会を開催します

日 時 5月28日(土) 10時～13時
 会 場 法人本部研修室 4階
 申し込み 411-6635
 締切 5月24日(火)

◆ 介護の現場で元気に働く職員をご紹介します ◆



介護職員
藤田 舞

くららなみに勤務して二年が経ちます。当初は、知識も技術もなく不安でしたが先輩職員が優しく丁寧に一つ一つ教えて下さいました。介護の仕事は大変なことも多いですが利用者の方々の笑顔に励まされ、「ありがとう」の言葉にとてもやりがいを感じています。これからも、自己研鑽に努め日々頑張りたいと思います。



特別養護老人ホーム 介護職員
竹田 辰美

特別養護老人ホーム くららなみ
 たんねの里に勤めて5年が過ぎようとしています。利用者の皆様ができるだけ自宅で過ごしている様な、居心地の良さを目指し、毎日楽しく利用者の皆様と関わっています。これからも、仲間のスタッフと協力しながら、利用者の皆様が楽しく過ごして頂ける様に行きたいと思っています。

いこいの里

新年度がスタートしました



園長
近藤 昭子

日頃より、いこいの里へのあたたかいご支援とご協力をいただき心からお礼と感謝を申し上げます。また、ショートステイ事業廃止につきましては、ご利用者ご家族をはじめ関係者のみなさまに大変ご迷惑おかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

さて、この四月から特養はより細やかなケアが提供できるよう居住スペースを見直し、窓から望む刈羽三山をエリア名とし、黒姫・米山・八石と三つのエリアケアでスタートしました。介護を取り巻く環境が厳しいことは否めませんが、人が生きていく上で大きな支えとなる人との繋がりをたくさん感じられるいこいの里でありたいと考えています。特養、デイサービス、居宅介護支援事業所、南地域包括支援センターとも入所して良かった、行って良かった、相談して良かったとご満足いただけるよう真摯に努めてまいります。地域のみなさまとも積極的に交流していきますので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

平成28年度 運営方針

基本理念「利用者から喜ばれる施設・家族から信頼される施設・地域から選ばれる施設をめざします。」

特別養護老人ホーム

- 安心快適でより良い生活を送るためのサービス提供
新しい3エリア体制のもと、生活の質の向上を常に目標とし、一人ひとりに合わせたサービスを提供します。
- 安全なサービスの提供
介護事故防止や個人情報情報の保護に努めます。また、災害・感染症に対する備えや予防、発生時の対応を的確に行います。
- 専門性をもったサービスの提供
研修の実施、部署や個人の目標を立て評価することで、より質の高いサービスを提供します。
- 地域との連携
地域との交流を積極的に進めると共に、ボランティアや実習生の受入れ、障害者就業を促進します。

デイサービス

ご利用者が可能な限り自宅での生活ができるよう入浴や食事、機能訓練等のサービスを提供し、地域に根ざすいこいの里の窓口として「また来たいデイサービス」をめざします。

居宅介護支援事業所

ご本人、ご家族が住み慣れた地域で生きがいを持って安心して暮らせるように介護保険サービスだけでなく、地域の社会資源や活動などの必要な支援内容を考え、関係者と連携し自立支援に向けたケアプランを作成いたします。

柏崎市南地域包括支援センター

柏崎市の委託を受けて設置された高齢者の方の総合相談窓口として、住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、関係機関と連携し、多面的に支援いたします。

デイサービス にこここニュース

まゆ玉作り

かわいい飾りができました

なつかしいねえ



あーおいしかった
次はあんこね!



あなたも
いかが?



まあるく
できたでしょ♪



お団子作り

みなさん良い笑顔♪

柏柳の里

「地域に貢献できる施設として」



園長
内山 一也

当施設もおかげ様で十九年目を迎えることが出来ました。これも皆様の支えがあつてこそと、心より感謝申し上げます。開所当初は、措置制度の時代だったため、利用者の皆様が施設を選択する自由もありませんでした。時も流れ、介護保険制度になり、「在宅で看ながらも施設も利用したい」というご要望も叶えられるようになりました。

刻々と変化する時代の中で、柏柳の里は皆様のご希望にお応え出来るよう、日々、取り組んでおります。

これからも、利用者の皆様にとって安心して過ごしていただける施設を目指し、職員一同が丸となり運営してまいりますので、ご家族は基より、ボランティアや各関係機関の皆様のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

「異動のご挨拶」



介護主任
赤澤 隆司

四月から柏柳の里で勤務させて頂いていただいています。福祉施設で過ごす利用者の皆様が楽しんで生きがいを持つて老後の生活を送るために、これまで培ってきた介護技術や知識を活かし、より一層、介護サービスの向上に繋げていきたいと考えています。

そのためには、まず私自身が笑顔を絶やさずに利用者の皆様と関わり、喜びや楽しみを分かち合う事、職員一人ひとりが自己研鑽し福祉専門職員として成長していくことが大切だと感じています。

また柏柳の里の地域性も大事にしながら、ご家族や地域、ボランティアの方々とも手を取り合いながら地域福祉の増進に貢献していきたいと思えます。

ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

平成28年度 運営方針

一 特 養 一

I 利用者本意のサービス提供

利用者一人ひとりの歩んできた道のりを大切に、その人らしい生活を過せるように、個別ケアを行います。

II 安全で快適なサービスの提供

職員が事故防止に対する共通の認識を持ち、万が一事故が起きた場合は、迅速に対応し、適切に問題解決を図ります。

III 介護サービス・サービス提供者としての質の向上

施設内評価・第三者からの評価を実施し、質の高いサービスを追及します。職員の知識・技術を向上させると共に、豊かな人間性を養い、利用者の尊厳を支えるケアへの取り組みを実施します。

IV 健康管理

利用者の皆様が穏やかな日々を過せるように看護職員一同、健康管理に努めます。利用者・家族の意向が反映できるよう努力します。

V 食事

個別の栄養ケアを多職種協働で支援し、利用者の生活機能維持・向上に寄与するべく、安全で美味しい食事を提供します。

基本理念 地域に根ざした豊かな介護を提供します

ーショートステイー

在宅生活の継続性を支援し、自分らしく住み慣れた地域での生活を送る事ができるようサービスを提供します。

また様々な活動やレクを通じて、より多くの方へ「来て楽しかった」と感じてもらえるよう取り組み、生きがい作りの拠点となるようなサービスを目指します。

ーデイサービスー

健全で安定した在宅生活の助長・社会的孤立の解消・心身機能の維持、向上・ご家族の身体的、精神的負担の軽減に努めます。

また地域連携の要として、近隣住民との関係を作り、誰もが気兼ねなく利用できるデイサービスを目指します。

柏柳の里に福がたくさん
来ますように★

きれいなお雛様

蕪玉飾り

柏柳の里 思い出アルバム

1月～3月にかけて行われた行事を中心に、
日々の活動の様子をご紹介します。

はっけよ〜い、
のこった!のこった!

どれにしようか
悩み中...

紙相撲 初場所

チョコレート、どうぞ!

お知らせ

4月1日より
デイサービスの営業日が

毎週月～金曜日

に、変更になりました。



今後とも、
よろしくお願
い致します。

園内研修報告

研修担当 藍沢ひとみ

三月二日、日本製紙クレシア様よりアドバイザーをお招きし、排泄介助に関する勉強会を行いました。実際にオムツを使用して、オムツがどのような構造になっているのか、詳しく説明を受けました。オムツの当て方の指導では、一人ひとりの体型に合わせた適切な当て方、尿などの漏れを防ぐ当て方等、きめ細やかにご指導頂きました。職員一同、新しい知識や技術を学ぶ機会となりました。これを機に職員一人ひとりが排泄介助に対する意識を高く持ち、利用者様に快適な毎日を送って頂けるよう、今後とも尽力して参ります。



くじらなみ

新任挨拶



選ばれる施設を
目指して
園長兼統括施設長
矢嶋 文博

前任の岡庭園長の退職に伴い、今回、二年ぶりに「くじらなみ」で勤務することになりました。

「特養ペペ・メメール」は満床稼働での引き継ぎではないため、若干の心苦しさを感じますが、そこらは海津新園長に全てを託し、私自身、気持ちを切り替えて「くじらなみ」の施設運営に取り組んで参りたいと考えております。

皆さんから、施設サービスを安全に安心してご利用頂くためには、職員の確保はもちろん最重要課題であります。しかし、その前に、現在勤務する経験豊富で優秀な人材が、他の法人等へ流失することを避けなければ、いつまでたっても施設の安定した経営には繋がっていきません。

利用者の皆さまから選ばれ、そして施設で勤務する職員からも選ばれる施設作りを目指して参りますので、これからは、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

退任挨拶



前園長
岡庭 豊子

さわやかな浜風を受けて通った二年間でした。三月末で退職いたしました。大変お世話になりました。

この間、介護保険制度改定が利用者負担を増やし、施設経営や職員採用にも大きく影響しています。介護の大変な部分のみメディアに取り上げられていますが、利用者の皆様との関係は、「彼も人なり我も人なり」です。

十年目を迎えるくじらなみです。施設理念「あなたらしい生活を大切にします」を掲げ、一人ひとりのケアに取り組み、安心と楽しみのある生活の場づくりに努めています。介護予防も含め、いつまでも地域と共に歩む施設であることを願っています。

再び、矢嶋園長が配属となりますので、今後共よろしくお願いたします。誠に有難うございました。

平成28年度 運営方針

「基本理念 あなたらしい生活を大切にします」

平成28年度は、開設10年目を迎えます。節目の年に、初心に戻り、ユニットケアの考え、基本理念をしっかりと頭に置きながら、さらに質の良いサービスが行えるよう努めていきたいと思っております。

特別養護老人ホーム

I 入居者本位のサービスの提供

- ・ユニットごとに家庭的な雰囲気の中で、その方の生活のリズムに沿ったケアを行います。
- ・食事・排泄・入浴・歯科衛生・研修等の各委員会が中心となり、質の高い介護サービスの提供に努めます。

II 安全で快適なサービスの提供

- ・介護事故の防止、身体拘束ゼロ、虐待をしないケアを行い、入居者の尊厳を尊重します。
- ・入居者やご家族との交流の機会を増やし、苦情や要望を反映したケアを行います。
- ・個人情報の保護、防災対策、感染症対策に関して、入居者の権利と安全を守るよう努めます。

III 専門性をもったサービスの提供

- ・施設内外の研修に積極的に参加し、ケアの質の向上を図ります。
- ・介護技術チェック表にて評価を行い、新任職員に対してはチェック項目を細分化し定期的にリーダーが評価・指導を行い、職員を育てる体制を整えます。
- ・接遇マナー自己チェック表により、マナー向上に努めます。

IV 地域との連携

- ・地域の行事に参加、外出行事を行い、地域の一員として交流を大切にします。

V 看護

- ・看護職員と介護職員の連携により、特定医療行為（たんの吸引等）の実施を行い、入居者の健康管理に努めます。
- ・その人らしい最期を迎えられるように、ご家族と連携を密にし、入居者の意向に沿った生き方を援助します。

ショートステイ

- ・利用者のニーズに合ったサービスを提供し、在宅生活を支援します。
- ・生活面・健康面・環境面など快適に生活していただくように努めます。

介護予防

- ・地域で生活する高齢者の「元気づくり」を目標に運動機能向上サービス（パワーリハビリ）を提供します。

たんねの里

笑顔のために



園長兼介護主任
壘 和明

おかげさまで、たんねの里は六年目の春を迎えることができました。利用者の皆様はじめ、ご家族や地域の方々には、日頃より大きなご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

私共は二十九床という小さな施設ですが、その良さを活かし、気持ちの通い合う温かい「居場所」でありたいと思っております。そのために、利用者の皆様の心の声を、しっかりと受け止められるよう努めて参ります。また、職員間でも、意見をぶつけながらも、カバールもし合えるようなチームワークを大切にしていきたいです。

さらに、自分たちが今行っている実践が、施設理念である「利用者の皆様の笑顔」につながっているのかを、常に振り返りながらケアを提供させていただきます。

また、地域福祉の拠点としての役割を、しっかりと果たし、ニーズにお応えして参りたいと思います。

今後、たんねの里に来て良かったと、皆様に感じて頂けるよう、職員一同努めて参りますので、よろしくお願致します。



平成28年度 たんねの里 運営方針

基本理念

「あなたの毎日に笑顔があふれるように、地域と共に寄り添っていきます」

①入居者本位のサービスの提供

入居者一人ひとりの歩んできた道のりを大切に、安全で安心して暮らせるように、個々の状態を把握し、寄り添うケアを行います。

②安全で快適なサービスの提供

介護事故防止、個人情報保護、苦情や要望に対する適切な対応、身体拘束や虐待をしないケアを目指します。また、災害や感染症に対する予防、発生時の対応を的確に行います。

③介護サービス提供者としての質の向上を図る

施設内評価を行い、第三者からの評価を実施し当施設が行っているサービスが適切であるか検討します。また、職員一人ひとりが自分の立場・役割を認識するよう、日常の業務において常に意識づけをし、施設全体のチームワークを高めるよう努めます。

④地域福祉への取り組み

地域に信頼される施設を目指し、施設の持つ機能を積極的に地域社会に提供し、高齢者の方々だけでなく、地域の誰もが立ち寄ることができる福祉施設の拠点としての役割を担っていきます。

⑤看護

施設で暮らす入居者は何らかの疾病を持っており、種々の身体上、精神上的の障害により日常生活の遂行に困難をきたしています。自立した日常生活が難しい入居者に対し、快適な生活が送れるように支援します。

⑥食事

「食べる楽しみ」を重視し、「食べる」ことにより笑顔があふれるような食事の提供を目指すとともに、衛生管理の徹底に努めることで安全で美味しい食事の提供に努めます。また、一人ひとりに寄り添った栄養ケアを多職種協働で支援します。



（3月3日 雛祭りにて）
雛飾りの前で茶話会をして大いに盛り上がりました。



「やられたあ〜！」



（2月3日 節分にて）
新聞紙で丸めたボールを投げて鬼退治をしました。

2月、3月のイベントより



新任ご挨拶



園長兼事務局長
海津 一也

この四月よりペペ・メモールの園長に就任いたしました、海津と申します。当施設は今年の七月で三年目を迎えます。その間、ご家族をはじめ、地域の皆様には施設の運営にあたりご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、近年福祉施設を取り巻く環境は変化の連続でその対応に追われる毎日です。今後も介護保険制度の改正や社会福祉法人制度改革等、更に大きな変化が待ち受けています。これらに適切に対応することはもちろんのこと、施設においては入居者の皆様に本当に喜んでいただける施設であるように、これまで前任の矢嶋園長を中心に築いてきたものを確実に受け継ぎ、施設の基本理念である「心に寄り添い心をつなぐみんなの笑顔のために」の実現に向けて取り組んで参ります。

微力ではありますが、精一杯努力して参りますので、今度ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度 運営方針

基本理念 **心** に寄り添い
心 をつなぐ
～みんなの笑顔のために～

I 入居者本位のサービスの提供

一人ひとりの入居者の歩んできた道のりを大切にし、その人らしい生活を過ごせるように支援します。

II 安全で快適なサービスの提供

職員が事故防止に対する共通の認識を持つように取り組み、万が一、事故が起きた場合は、迅速に対応し、適切に問題を解決していきます。

III 介護サービス・サービス提供者としての質の向上

施設全体で知識・技術向上のため、職員研修体制の充実と自己研鑽できる姿勢を身につけていきます。

IV 地域との連携

施設の持つ機能をより積極的に地域社会に提供し、地域との連携を図り、地域福祉の充実に努めます。

V 看護

高齢者の特徴と個性を理解し、健康的な日常生活が送れるように援助を行います。また、予防的視点を持ち、介護職と共に入居者の尊厳ある生活を支援します。

VI 食事

一人ひとりの身体状況、嗜好、習慣に応じた食事を提供し、生活機能の維持・向上を図るとともに、その人らしい生活を支えていけるように努めます。

編集後記

風の街柏崎と言われますが、暖かく柔らかな風を感じる季節となりました。今年度も充実した内容の広報となります。工夫を重ねてまいります。(本部事務局 林)

ボランティア紹介

武田薬品様より、車椅子の清掃を行っていただき、とても綺麗になりました。ありがとうございました。



今年度の意気込み!

利用者1人ひとりの生活スタイルに合わせる「個別ケア」に強い意気込みを抱いています。職員間で密な連携を図るためにも、利用者の24時間の生活記録を把握し、記録する「24時間シート」を完成させ、活用する必要があります。利用者がより一層、穏やかに安心して過ごしながら、その人らしい生活を送っていただけるような環境作りを目指します。 介護副任 内山 京子



今年度で当施設も3年目を迎えます。昨年度は、利用者とも良い関係性を築き、寄り添いながら一緒に生活していると感じられるようになりました。今年度は利用者1人ひとりがその人らしい生活が送られるようにサポートしていきたいと思えます。そのために利用者に対しての目配り、職員同士の心配りをより深く行い、豊かな生活に結びつくように施設全体で取り組みます。 介護副任 佐藤 亮

